



がんの早期発見について 少し考えてみよう!!

* がんの発見、治療 *

臨床的に「がん」と診断するためには、がん細胞の数が10の10乗個以上にならないと分からないと言われていました。この大きさは、具体的には重さとして1g、大きさとして1センチにも満たないくらいです。この段階は、いわゆる「早期がん」であり、ほとんどの方が完全に治りますが、それを越えると成長するに従ってリンパ節や遠隔転移の可能性が高くなり、治療が難しくなります。

医療技術の発展により、がんを早期に発見することが出来る
とより楽な治療法につながり、克服できる可能性が高くなってき
ました。

しかし、がんの進行が進んだ段階で発見されるとその治療は
きつくなり、治療法の選択肢も狭まります。



このことから「**がんの早期発見、早期治療**」の原則がいかに重要な事がよく分かります。

* 早期発見が大切 *

高齢になるほど、がんは誰にでも起こり得る普通の疾患であり、みなさんも覚悟する必要があります。

しかし、早期に発見できたら、がんを制圧できる可能性が高いのですから、医療機関、検診機関によるがん検診の機会を逃さないようにしましょう。また、検診だけでなく、自分の体の異常をとらえたら積極的に専門家に見てもらおうようにしましょう。